

## 「ASEAN シンポジウム」にパネリストとして参加

10月9日、横浜市で開催された「日ASEANスマートシティ・ネットワーク・ハイレベル会合のシンポジウム」にパネリストとして参加しました。

この会合は、今年の「日ASEAN首脳会議」で安倍総理大臣がASEANスマートシティネットワークへの協力を約束したことから開催されました。急速に都市化が進展するASEANへ日本のスマートシティの情報を効果的に発信するために経済産業省、総務省、環境省と連携しています。行われたものです。



パネリストは、シンガポール国土開発省を始めとして、タイ運輸省、カンボジア国土整備・都市化・建設省が参加。日本側は、UR都市再生機構、静岡県藤枝市長に私の6名が登壇。

私からは、技術によって便利さや効率性を追求するだけではなく、市民のしあわせをこれらの技術を活用してどう作り上げていくのか「人と人との絆をつなぐスマートシティ」を訴えました。

私は、行政・民間企業・大学をはじめとする研究機関、そして地元住民の皆さんと連携して、様々な事業(実証事業)を実施しながら、地域だけでなく、さいたま市全体、そして日本、世界へ発信し、役立てるスマートシティを目指して行きたいと考えています。



# さいたま市が輝く！ 「新しい時代のまちづくり賞」 を受賞

「日本中に、エコで快適なまちづくり、人材が育ち高齢者も参加する活力あるまちづくりの構想を推進する」プラチナ構想ネットワーク(会長 小宮山 宏 東京大学総長室顧問)の最終審査発表会・表彰式が、11月5日に開催されました。



さいたま市を代表して、清水 勇人 市長が民間企業や大学と

「<sup>プラス</sup>公民+学」の構築に向けた取組を発表しました。

会場からは、さいたま市が進める「人と人を絆でつなぐスマートシティさいたま市モデル」について、高い注目を浴びました。

審査の結果、さいたま市が「新しい時代のまちづくり

賞」を受賞することが出来ました。

地域の課題を既に解決、明確なビジョンや具体的なアクションによる素晴らしい取り組みを始めている自治体が「プラチナシティ」と認定されます。

清水勇人市長からは「リーダーが強い意思を持ち、しあわせな未来が開けるよう『プラチナ社会』実現を目指す」との力強い発言がありました。

